

# 吉川育英会だより

～友の会(OB会)会員と現役奨学生からの近況報告～

## Vol.2

リュウハク  
劉 博 さん

中国  
北九州市立大学(OB)



修士課程の二年間、奨学金の支援をしていただき充実した研究生生活を送ることができました。本当にありがとうございました。「奨学生の集い」で、工場見学や野外研修などたくさんの楽しい思い出を作ることができ、吉川育英会の奨学生の一人になって良かったとずっと思っていました。

私は現在、北九州市立大学院博士課程の三年生になり、情報工学を専攻し、主にアナログ集積回路の研究をしています。電気製品やコンピュータの中に搭載される人間の「脳」と同じ役割を果たす黒いチップを相手に、更なる性能向上のために、内部回路の設計と研究をしています。卒業するための結果をだすため、毎日のように回路実験、試作チップの評価測定を繰り返し、国際会議の論文投稿のために奮闘しています。

順調に往けば、来年3月に卒業する予定です。今就職活動の最中で、できれば日本の電器メーカーの研究所に勤めて、現在の研究を続けていきたいと思っています。

今10ヶ月の息子がちょうど可愛い時期で、育児が大変ながらも、子供と一緒に遊ぶ時間が幸せがいっぱいで本当に人生は素晴らしいと感じています。

「貧しい人は、心が豊か」、今は豊かな心で、貧しい生活をしているかもしれません。でも、妻、幼い息子と家族三人と一緒にさえいれば、自分も「頑張らなきゃ」と思えて、いずれ豊かな生活が迎えられると私は信じています。

最後に改めて吉川育英会の皆様に感謝いたします。そして、これからも育英会OBの一員として、研究も仕事も頑張っていきます。又、吉川育英会様の発展のために何かお手伝いする機会が来れば是非協力させていただきたいと思っています。

セイ ショウミ  
盛 祥美 さん

中国  
福岡大学(OB)



卒業して早くも三年目になります。戸田建設に入社して東京で2年間勤務し、今は戸田建設の中国上海支店に勤務しています。

大学時代の二年間は吉川育英会に大変お世話になりました。今でも、その当時の交流会や工場見学会などをとても懐かしく思い出しています。

私の場合、福岡大学の建築学科に在籍していましたので、必要な科目が多く、製図などもありましたので、アルバイトをする時間がほとんどありませんでした。

そのような時に、毎月吉川育英会から奨学金をいただき、学業に集中することができて本当に助かりました。心からお礼を申し上げます。

また、毎月の交流会の時に他の奨学生達と会って、勉強や生活の近況などを話したり、将来の夢を語り合ったり、就職先などを相談したりしてお互いに助け合うことができました。日頃のストレスも解消することができました。

私は今、建設業界で仕事をしています。女性ですが、現場で男性の中に交じって施工管理の仕事をしています。男性の大勢いる業界ですので、当然体力的には負けるかもしれませんが、精神面ではいつでも負けていません。女性ならではの技と感性をこれからも活かしていきたいと思っています。

吉川育英会様からは、今でも連絡をもらっていることをありがたく思っています。これからも繋がっていただけたらと思っています。

最後になりますが、後輩の皆さん、吉川育英会の奨学金をいただいていることに感謝の気持ちを持って、勉学に励んでください。

そして将来、社会に貢献できる人材になれるようお互いに頑張りましょう。

現在は修士課程の2年目を迎え、専攻している分野の研究を進めているところです。

吉川育英会のご支援により、無事に一年間研究を続けてこられたと思っています。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

私は今、江戸時代における日本と韓国(朝鮮、以下朝鮮)の交流について研究しています。日本は鎖国によって閉ざされた時代でしたが、唯一朝鮮とは国交を結び、朝鮮通信使のような使節団まで派遣されたりもしていました。私はこのような歴史を認識したうえで現在の日本と韓国との関係を語りたと思っています。実は、私自身は初めて日本に来たとき、日本と韓国の間には微妙な空気が漂っており、少し緊張した精神状態にありました。しかし、日本で出会ったすべての人々は本当に優しい人ばかりで、余計な心配をしていたことにすぐ気付いたのです。自分自身で実際に現地へ行き、経験してみないと、理解できないことがたくさんあると痛感しました。

卒業後は専攻した研究の成果や留学を通じて得た経験を活かして、日本と韓国の間で両国が良い関係を築くための仕事に就きたいと思っています。

残る一年間、吉川育英会様の期待に応えるためにも、頑張っていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

吉川育英会様にお世話になったのは4年前でした。

当時、私は学生結婚で、夫と二人で共に大学院に通っていました。毎日学業とアルバイトに追われて、極めてハードな日々が続く状況の中で吉川育英会からの助けをいただいたことは、本当にいくら感謝してもし尽くせません。

今、学生時代を振り返ってみると、様々な苦労を積み重ねたことも確かでしたが、その努力の成果として得られた生き甲斐や充実感こそが最大の報酬だと思っています。やがてその経験が私の人生の糧になり、頑張るエネルギーとなって私の中に再び湧いてくることを期待しています。

現在は夫の勤務の関係で横浜に住んでいますが、近々夫が海外に派遣されることになるため、私は専業主婦をしながら、英語や様々なことを勉強しているところです。

しかし、いつかは必ず母国に帰りたと思っています。中国は今、高齢者問題が大きな課題となってきています。裕福な人だけでなく全ての高齢者が安心して生活できる日本にあるような高齢者福祉施設を建設したいと思っています。そして日本で学んだ福祉の知識を活かすのが私の夢であり人生の目標となっています。是非実現させたいと思っています。

どうか、このような情報交換をこれからも継続していただくようお願いいたします。

このネットワークがいつか私の夢の実現と育英会様の発展に役立つことを期待しております。

それでは皆様のご健康とお幸せを切にお祈りし、失礼いたします。

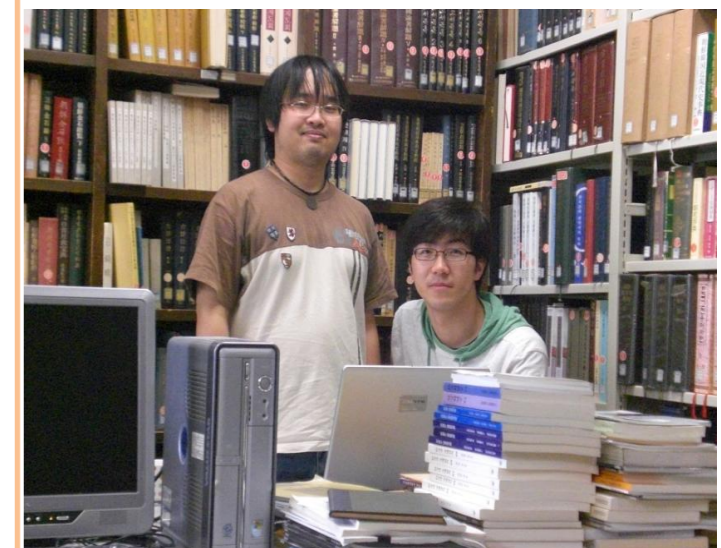
トレイレイ  
都 霊 さん

中国  
福岡教育大学(OB)



キム ジンシク  
金 振 識 さん

韓国  
九州大学(現役)



研究室で同僚と (右が金さん)